

けいちゃん はんちゃん なあちゃんの

社会見学

の学研都市

京田辺市編

緑あふれる、みんなの居場所

『京田辺クロスパーク』

2025年春に京田辺市にオープンした『京田辺クロスパーク』(タナクロ)を見学したよ!ここは子どもから高齢者、障がいのある人など、全ての市民が交流できる場所なんだって。どんなことができるのか、お話を聞いてきたよ。

公園の中にいくつもあるのが、大きなグリーンハウス。この中では色々な種類の野菜が育てられていて、誰でも気軽に収穫などの農体験をすることができるよ。このハウスの特徴は、野菜が大人の腰ぐらいの高さで砂栽培されているということ。子どもでも簡単に収穫できるだけでなく、車椅子の人もハウスの中を自由に移動したり、作業ができるようになっているよ。

「手ぶらで気軽に来られるので、市民の農体験・食育の場として活用しています。穫れる野菜も日によって変わるので、誰でも、何回でも遊びにきてほしいな。」と園長さんはお話されていたよ。



公園の真ん中にどどん!と大きく広がる砂場は、地元の砂が使われているんだって。この砂場は地元の専門家によるアドバイスを基に選定した、造形がしやすい砂が使われているよ。イベントのときは、立体造形アーティストがとっても大きな砂のお城を作ったこともあるんだって!

ビーチバレーのコートと同じぐらい大きい砂場は、子どもも大人も夢中になれる、市民に大人気な遊び場になったそうだよ。

そして、公園の奥にある竹林は「プレーパーク」として活用されているよ。自然に関する知識や経験が豊富な、大人の「プレーリーダー」が見守る中でツリーハウスを作ったり、焚き火をしたり、竹を切ってブランコをつくったり、自然の中で思いっきり遊ぶことができるよ。(開催は月に1度)

担当者さん曰く、「子どもの発想や創意工夫が最大限に発揮できるだけでなく、見守ってくれる大人がいるから安心して遊べますよ。」とのこと。

自然をいかして、障がいのある人の就労支援や活躍の場を。

『タナクロ』は、行政と民間事業者が連携して運営をしている公園なんだ。

この公園で特に力を入れているのが、障がいのある人への就労支援。ここでの主な仕事は、グリーンハウス内での栽培管理や農体験のアテンド、施設の掃除など。市内の障がいのある人の就労支援をしている事業所により設立された「一般社団法人京田辺みんなの働くプロジェクト(みんプロ)」と共に、障がいの種別や度合いによって色々な種類の仕事を生み出す仕組みづくりがされているよ。

「障がいのある人がサービスを受ける側からスタッフとして接客する側になることで『障がいがある特別なことではない』という多様性を育むのが狙いなんです。」「ここで働くことがゴールなのでなく、働く喜びを体験することで、さらに次のお仕事へとつなげる受け皿になればいいなと思います。」と、運営に携わる皆さんはお話されていたよ。

誰でも気軽に遊びにいける公園という場所が、障がいのある人の自立に向けた支援の場にもなっているんだね。毎月、お祭りやマルシェなど、さまざまなイベントも行われている『タナクロ』は、今日も市民みんなの憩いの場になっているよ。



INFORMATION



タナクロ公式アプリQR

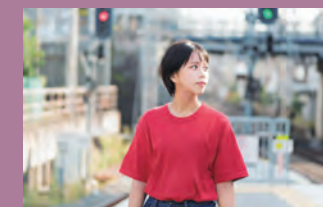


タナクロofficial (Instagram)



施設利用や農体験お申込みは
『京田辺クロスパーク 管理棟受付』まで
(予約の空き状況など電話等にてお問い合わせください)

- 受付時間 9:00-17:00
- 休館日 毎週水曜、12/29~1/3
- ※駐車場を含む全施設(公園の出入りは自由です)
- 無料駐車場60台(内、おもいやり駐車場5台)
- 大型バス4台完備
- (駐車場・お手洗いも時間外は施錠しています)
- 電話 0774-29-9124
- Mail info-tanakuro.tcc.mb@mail.toray
- Ravigote(カフェ)・楽庵(蕎麦) 070-6632-0315



イラスト・記事制作
おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。
京都市出身。
著書『ショート・ショート・キョート』発売中。
FMKYOTO『FLOWER HUMMING』
毎週日曜20時からOA中。
SNSにて作品更新中!
X / Instagram @ohyeah_saki